

鐘釣の 大文字草を 忘れぬや

高浜 虚子

久が原地区 管内	人口	男	13,835人
		女	14,388人
		計	28,223人
	世帯	12,960世帯	

平成26年9月1日現在

くがはら

発行：地域力推進
久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL(3752)4271
FAX(3752)4514
題字：三木兼吉



記念すべき第25回目のふれあい久が原大運動会は、久原小学校の校庭において10月12日(日)に行われます。久が原地区の大森第十中学校と久原小学校、松仙小学校のPTAと、東・西・南・道々橋・ヒルズ久が原の各自治会、青少年からメンバーが集まり「ふれあい久が原プログラム委員会」は構成されます。地域の運動会の特色は、小さいお子さんから おじいちゃん、おばあちゃんまでが一体となり競技への参加ができることです。まず、怪我の無いよう安全に配慮しながら、競技する人ももちろん、見ている人も楽しめるプログラムにしなければなりません。プログラム委員全員が智慧を絞り出し、楽しいプログラム内容になっていくのです。「パン食い競争」や「障害物競争」「綱引き」に「玉入れ」など、最後のトリを飾るのは自治会対抗リレーです。

「ふれあい久が原大運動会」の盛り上がりは、最終競技のリレーで最高潮を迎え、と、参加して下さる皆様の笑顔想像しながら、私たちがプログラム委員のメンバーも楽しく企画してきました。何より今回は25回目という節目の回です。ネーミングや競技の中に「25」を取り入れられています。プログラムを見て探してみてください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

江戸中期から多摩川は奥多摩の山から切り出したスギ、ヒノキなどの木材を搬送する手段として利用されてきました。奥多摩に鉄道が引かれトラック道ができた大正時代まで続けられていたそうです。奥多摩の支流から流された木材は本流で筏に組まれ、4〜5日の日数をかけて多摩川の河口、六郷羽田に集められ、筏乗子は陸路を青梅方面のわが家へと帰りました。この多摩川沿いの大田区から世田谷区、府中市を経て奥多摩につながる道を「筏道」と言われていました。

広げよ元気の輪、地域の輪、友達の輪

第25回 ふれあい久が原大運動会

ふれあい久が原プログラム委員会
委員長 栗原 久子

明治20(1887)年ごろは青梅を中心として200名くらいの方が筏師として登録しており、1組5〜8人でチームを組み河口まで運び、帰りは陸路をチーム単位で戻りました。東京側、川崎側にくつもの筏道がありました。鶉の木特別出張所近くにある「おしやもじ様」は道祖神として「ドウロクさま」とも言われ、近隣の方々がご飯を盛るしやもじを奉納して咳、風邪よけの神様としても祭っていました。

前回の道は旧鎌倉街道ともいわれ、帰りを急ぐ筏師もこの道を通り「おしやもじ様」に帰路の安全を願ったことから筏道の一つといわれていたそうです。六郷から沢井まで約16里

私は、大森第十中学校の環境美化委員会で、菊作り指導者の醍醐さんに会いました。醍醐さんは、天気予報や農作物にも詳しく、大地からエネルギーをたっぷりもらっているようなあたたかな方でした。

咲き誇る大輪の菊花

十中菊作りに関わって

左右田 洋子

昭和41(1966)年の創業以来、端子盤専門メーカーとして、お客様のご要望に即した商品開発とサービスを最優先に努力してまいりました。端子盤は産業と暮らしをつなぐ、高い安全性と信頼性を求められる重要部品です。我々は重要部品のモノづくりをしていることに責任と誇りを持ち、また我々が納めた部

品が世界中のモノづくりを支えていることに喜びを感じています。来年迎える創業50周年、そして掲げている2020年ビジョンの実現に向けて、本社、山梨事業所、上海代表事務所、の従業員一丸となって取り組んでまいります。

委員会の仕事は主に菊の水やりと観菊茶会の準備等の裏方仕事です。水やりは当番制で一鉢一鉢丁寧に葉に水をかけないようにやっています。水やり用の水は貯水して

おいだものを使い、その中に栄養剤が入り墨のように真黒になった時はギョツとします。菊庭は、夏季は用心しないかと蚊にさされず、降雨の後は、靴が泥だらけになります。害虫の多い季節になると恐る恐る退治し、秋の台風の時期には、鉢が倒れたりしてないか心配になり見に行きます。そうやって手間と時間をかけて育てます。まさに「子どもを育てるように育てる」といった様です。無事に咲くと喜びもひとしおです。満開の菊のように、生徒たちもそれぞれ



住所 大田区久が原3-32-4
代表取締役 大島 要二さん

える理由
当時、東雪谷地区に構えていた拠点を手狭になったため移転を計画しました。久が原地区を選んだのは、閑静な地域であり、最寄駅や環八道路、第二京浜国道などの幹線道路も近く利便性に優れること、さらに会社前の道路が一方通行なので営業車の出入りがしやすく安全であるためです。拠点を構えて40年以上経ちますが、来社されたお取引先様からは、高級住宅地と言われる久が原地域に会社を構えていることを驚かれます。

菊が世界の中のモノづくりを支えていることに喜びを感じています。来年迎える創業50周年、そして掲げている2020年ビジョンの実現に向けて、本社、山梨事業所、上海代表事務所、の従業員一丸となって取り組んでまいります。

イベント情報

- 久が原福祉園きらら祭
【日時】10月4日(土) 10:30~15:00
【場所】久が原福祉園
 - 第51回雪谷文化センターまつり
【日時】10月4日(土) 10:00~20:00
10月5日(日) 10:00~16:00
【場所】雪谷文化センター
 - 第25回ふれあい久が原大運動会
【日時】10月12日(日) 9:30~15:30
【場所】久原小学校
 - 久が原西・道々橋自治会合同防災訓練
【日時】10月19日(日) 9:30~12:00
【場所】松仙小学校
 - 久が原地区自治会連合会研修旅行
【日時】11月5日(水)
【場所】三島・沼津方面
 - 久が原東自治会防災訓練
【日時】11月16日(日) 9:30~12:00
【場所】久原小学校校庭
 - ヒルズ久が原自治会防火・防災訓練
【日時】11月16日(日) 9:00~12:00
【場所】ヒルズ久が原全域
 - ヒルズ久が原自治会クリスマス点灯式
【日時】11月29日(土) 17:00~19:00
【場所】ヒルズ久が原管理棟内
 - 久が原南自治会クラブまつり
【日時】11月30日(日) 9:30~12:00
【場所】久が原南自治会館
久が原南台公園
- 問合せ先 (3752) 4271 久が原特別出張所



〔連載〕久が原の自然③
ダイモンジソウの咲く庭
岩場や深谷に生える多年草

北海道や新潟などの滝の近くの岩場などに、ひっそりと愛らしい花をつける多年草のダイモンジソウが、久が原のあるお宅の庭で育てられている。

花は、白、ピンク、黄色、赤など各色あり、しかも白い花弁に赤やピンクの絞り模様を散らした物もあるらしい。その形は、名前の由来にもなっている「漢字の犬の字」によく似た形である。葉はユキ

人混みの中の お年寄りにやさしく

〔連載〕ほんの少しの心遣い③

若いころ人混みの中を歩くお年寄りに押しつけられて嫌な思いをしたことがありません。年を取っても押しつけられて歩くなどやりたくないと思ってきました。

しかし、よく見てみると押しのけているのではなく、押されて転ばないよう防衛線を張っているのだと気が付きました。周りの人に押されたら転ばないように踏んばらなければなりません。足を骨折したら大変です。治るころには筋力が落ちて歩行でできなくな

ノシタそっくりで、表面は長めの毛で覆われている。花が咲くのは、夏の曇りがひと段落する9月・10月ごろ。その様は、暗闇の中で弾ける線香花火のようである。

東京の気温が36度近くにもなった、7月の終わりのある日、久が原西郵便局近くにあるそのお宅を訪ねて、ご主人と奥様にお話を伺うことができた。こちらのダイモンジソウは、20数年前に新潟の奥様のご実家から分けていただいたものを大切に育てて、殖



ります。必死だったのです。不意に押されても優しく見守って下さい。

さて、電車やバスで席を譲られると年寄り扱いされた

やしたものだそう。そのお庭は、新潟産錦鯉が泳ぐ大きな池の端には、地下水を井戸ポンプで流す人工の滝まで配置されていてダイモンジソウには理想の環境が調えられているように見えた。

ご実家のダイモンジソウは、お世話をする方が亡くなられたために、残念ながら消滅してしまっただけで、久が原のダイモンジソウは、この地域の家々で増えつつあるそう。

(伊津 連斗)

文化センターの歩み ひろばの会に 支えられ54年

雪谷文化センター
所長 秋元 美智子

雪谷文化センターは、昭和36年に大田区青年館としてオープンし、今年で54年となります。

戦後、日に日に復興する産業経済の担い手として、東京に集まってきた若い人たちの健全な育成と、自発的な活動を育てる目的で開館しました。

当時は、青年施設としては区内で最初の唯一のものであり、

◆郷土コーナー誕生

地域要望である「久が原の郷土コーナー」が7月から久が原図書館に常設展示として実現し、多くの皆様にご来場いただいています。初回は、計算道具いろいろ。今後、久が原の家庭や学校、農家、工場等で日常的に使われていた懐かしの品々を展示する予定です。次回テーマは「あたたまる」です。展示品は随時募集しています。陶器や鉄製の湯たんぽ、豆炭あんか、どてら、ちゃんちゃんこなど当時使っていたものがありましたら久が原特別出張所にご一報願います。皆様のご来場とご感想をお待ちしています。



寝たきりにならないために
**骨折を防ぐ
エクササイズ**

あなたは平たい廊下や道路でよるけたり、つまずいたりしたことはありませんか。もしそんな経験があったら、転倒による骨折、そしてドミノ骨折に注意する必要があります。ドミノ骨折とは、一度の骨折をきっかけに骨折を繰り返すことです。高齢者にとっ

り、東京都としてもきわめて少ない施設でしたので、遠くから見学に訪れる人も多く、以降建設される青年館の参考になったようです。

昭和49年に六郷に青年館(現在の六郷文化センター)が誕生したことにより名称が大田区雪谷青年館となり、昭和60年に、青年館から文化センターへと名称が変更されました。約30年の風雪に耐えてきた施設は老朽化に伴い、平成4年12月に改築され、現在の様相になっています。

そして、現在の雪谷文化センターの年間利用者は約8万5千人で、文化センターのなかでトップの利用率を誇っています。これは地域の皆

●編集委員 新旧のご紹介

〈退任〉 三部 修一(道々橋)
伊藤 進(道々橋)
岡田久美子(西)
〈新任〉 中安 久司(ヒルズ)
松浦三恵子(西)

どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

「情報紙くがはら」は、来春100号を迎えます。毎号に加えてどうぞお楽しみを!! (富田 永美)

て転倒を防ぐことが、最初の骨折、そしてドミノ骨折を予防することにつながります。高齢者が骨折を防ぐためには、骨や筋肉を強化し転倒を予防することが大切。そのためには、骨の老化を予防すること、筋力を維持すること、また、バランス感覚を高めたり、柔軟性を向上させることが重要です。

今回は、自宅で行える簡単なエクササイズを紹介いたします。無理しないで、ちよつとだけチャレンジしてみましょう。(雀木 大熊)

様が地域活動の拠点としてご利用いただいている結果だと思いが、なかでも利用者の会(ひろばの会)役員皆様のご尽力によるものと理解しております。改めて代々のひろばの役員皆様様に御礼申し上げます。

6月18日に「書家 金澤翔子常設展」を開いたしました。今までにない常設ということ、遠方からの来訪者も多く、皆さん、異口同音に金澤さんの書の迫力に感動したとおっしゃっています。また一つ、雪谷文化センターの魅力が加わり感謝しております。近くにいらした際は是非お立ち寄りください。